

# よかよかだより

ボランティア出前講座③

## 4原則の一つ「社会性」とは

2020年10月号からシリーズで紹介している「ボランティア出前講座」。今回はボランティア活動の4原則の一つ「社会性」について、地域の環境保全に取り組む「里山倶楽部」の梅本代表にお話を伺いました。

### 団体が発足したきっかけ

私が住む長延区は、面積の6割が山林です。昔の子どもたちは山で遊ぶなど、自然とともに暮らすのが当たり前でした。しかし進学や就職などで都市へ移住する若者も増え、里山から徐々に人が離れていきました。私たちが活動を始めた当初、木々は荒れ、雑草は生い茂り、地域住民でさえ足を踏み入れない場所が変わっていました。「山林は長延区の誇るべき財産。地域の宝を活かした活動ができたよ

に感じます。活動を続ける中で、取り組みに共感してくれる人も増えてきました。発足から10年たった今、四季の移ろいを感じられる里山に近づいてきていることを実感し、とてもやりがいを感じています。

### 今後の活動と目標

将来、みんなの手で整備された里山が、ピクニックやウォーキングを楽しめるような、地域に愛される交流の拠点になったらいいなと考えています。記念樹を植えた子どもたちが大人になって帰ってきたとき、当時の思い出にひたれるように、子どもたちとの活動も続けていきたいと思っています。

### これからボランティアを始める人へ伝えたいメッセージ

ボランティア活動は自由に発想できるため、今までにない、新たな活動が生まれる可能性をもちます。一緒に活動する仲間がいるとその可能性はより一層広がります。ひとりでは解決できない課題にも取り組め、自分にはない新しいアイデアも出てきます。皆さんも自分が共感できること

### 活動のやりがい

いか」と考えた私たちは、先に同じ思いで活動していた団体「盛り上げ隊」とともに、10年前「里山倶楽部」を発足させました。現在はみんなが散策したいと思える里山をつくるため、史跡「東福寺」散策ルートの整備や、子どもたちとの卒業記念樹の植樹、空き家を活用した里山の拠点づくり、里山でのワサビ・椎茸の栽培など、長延区の里山の保全・環境整備に取り組んでいます。そのほか山林の竹を活用した竹灯籠やそうめん流しも行っています。

山道の整備により、里山への不法投棄が劇的に減りました。里山内にある私有地の清掃回数も増え、「地域の自然を守っていきこう」という皆の思いも高まってきたよう

や、関心ごとがみつかったら、ボランティア活動の扉を叩いてみてはいかがでしょう。



▲里山倶楽部のメンバー

私たちの周りにはさまざまな課題があります。ボランティア活動における「社会性」とは、これらの課題を発見・改善するために、一人ひとりが考え、他者と協力して行動することです。ともに学び、高め合うボランティア活動は、明日の社会をつくることにつながります。

次回(2021年4月号)は……ボランティア活動の4原則の一つ「創造性」とは

ボランティア活動センター  
「よかよか」  
はなやぎの里2階  
平日 8:30 ~ 17:15  
☎ 0943-32-7073  
FAX 0943-32-7074

# 広川町の学校教育

## 一人1台タブレットを導入

### お問い合わせ

教育委員会事務局

学校教育係

☎ 0943-32-0093

内線 262・263

### だれも取り残さない学習

今年4月、町内の全小中学校の子どもたちと教師に、一人1台ずつタブレットが配られます。子どもたち一人ひとりに合った教育を行うため、一昨年、文部科学省が発表した「GIGA（ギガ）スクール構想」によるものです。

これまでの学校の授業は、教師が子どもたち全員の意見を聞いたり、ノートを確認したりするのに時間がかかっていました。

一人1台の端末があれば、



教師はすべての子どもへの回答をその場で確認し、習熟度に応じて授業の速さを調整することができそうです。理解できていない子どもが少ないときは、すぐに指導方法を変更することが可能です。

### あらゆる教科に活用

中広川小学校では、2年前に7台のタブレットを購入し、その活用を検証してきました。月の見え方を学ぶ授業では、タブレットで写真や動画を撮りながら、月は太陽の位置に

よって見え方が変わることや学習。これまで図書室などで資料を探していた時間が短縮され、授業の効率化と内容の充実につながっています。体育の授業では、運動の様子を動画で撮影し、良い点や改善点を自分の目で確認することができるようになりました。

そのほか、子どもたちのプレゼンテーションにも活用されています。教室と教室外をつなぎ、離れた場所で同時に学べるため、新型コロナウイルスの感染対策にもつながっています。

### GIGA スクール構想への期待

パソコンを使った学習はこれまでも行っていましたが、各クラスで週に2時間ほどしか使うことができませんでした。4月からは、必要なときにどこでも自分専用の端末を使うことができるので、子どもたちも楽しみにしています。これからの高度情報化社会には、情報活用能力が不可欠です。まずは教員の研修を行い、ICT（情報通信技術）を活用した新たな授業のあり方を探り、他校にも広げていきたいです。



下広川小学校  
後藤哲也校長